





岸用畑往々小丘ノ羅列スルヲ見ル其被害酷ナル所ニ至テハ毒沙一帯ノ沙漠ト變シ其上層ノ毒泥ヲ掘除スルサヘ尙ホ之ヲ爲ス能ハスシテ空シク大多ノ良田ヲ放棄セサル可ラサルモアリ假ニ被害田畑ノ全部擧ケテ其毒泥ヲ掘除シ得ルモノトスルモ田畑一反歩ノ毒丘ハ少クトモ其田畑ノ面積三分一ヲ奪ヒ乃チ耕地ノ三分一ハ永遠耕種收穫ノ望ナキモノトナレルヲ知ルヘシ

之ヲ要スルニ上層數尺ノ毒泥ヲ掘除シテ無害ノ土壤ニ達スルサヘ尙ホ容易ノ業ニアラスシテ其勞費寧ロ新タニ開墾スルニ優ル況ヤ其掘除シタル結果トシテ更ニ田畑ノ面積三分一ヲ奪ハル、ニ至テハ某等農民ノ慘苦窮困ノ現狀以テ察スルニ足ラン而カモ此荒地ニ向テ依然タル租稅ヲ課セラル、ニ至テハ某等農民ハ到底其負擔ニ堪ヘ得サルノミナラス足尾銅山鑛業未ダ停止セラレズ鑛毒ノ浸漸依然トシテ防遏ノ道ナシトセハ假令暗涙ヲ吞テ一時ヲ陰忍スルモノアルモ既ニ三分一ヲ奪ハレタル田畑ハ更ニ鑛毒ノ浸漸スル所トナリテ地質變惡シ荒廢又ダ荒廢終ニ尺土ヲ餘サハラントス

今其事實ヲ證セン爲メ昨年九月八日ノ洪水ニ際セル沿岸被害ノ一例ヲ左ニ示サン

群馬縣邑樂郡西谷田村被害調査概表

人民死亡	四	名	家畜斃死	千二百三十五頭
家屋潰崩	百五十	戸	家屋破損	五百五十戸
家屋浸水	六百十六	戸	田畑流沒	二十一町一反九畝步
田畑土砂浸入	七十四町三反九畝步		田畑浸水	七百九十五町七反二畝步
植物腐朽			宅地浸水	百三町八反四畝步
山林土砂流入	二百七町二反九畝步		堤防潰裂	五ヶ所
堤防缺損	二十四ヶ所		用水路破損	十五ヶ所
道路流沒	八ヶ所		道路毀損	二十八ヶ所
橋梁流沒	十六ヶ所			

是レ只々被害ノ一例ニシテ此ノ如キモノ四縣十二郡ニ亘レリ而シテ其被害ノ原因ハ則チ鑛毒ノ浸漸ニ由レルモノナルヲ更ニ一例ヲ舉ケテ之ヲ證セム

栃木縣々會ノ議定セル治水工費ニ就テ之ヲ見ルニ鬼怒川ノ堤防ハ一年五千圓ノ工費豫算ヲ要シ渡良瀨川ノ治水費ハ四千圓ニ止マル是レ渡良瀨川ノ鬼怒川ニ比シテ其水積狹小ナル事實ヲ證明セルモノニシテ隨テ大雨洪水ノ被害鬼怒川沿岸ノ渡良瀨川ニ較ヘテ遙ニ廣大ナル可キニ又ダ自然ノ勢ナラサル可ラス然ルニ其實際之ニ反シ昨年九月四日ノ洪水ノ如キハ栃木縣下全般ノ被害地一万九千六百八十二町七反四畝八步ニ對シテ鬼怒川沿岸ノ被害ハ六千二百四十七町六反六畝二十二步ニ止マリ渡良瀨川畔ノ被害地實ニ一万三千四百三十五町七畝十六步ノ多キニ達シ家屋一万二千三百四十四戶此人口一月五人ト假定スルモ又六万七千七百二十人ノ被害者ヲ見ルニ至ル是レ鑛毒浸漸ノ結果ニ由ルニアラスシテ何ソヤ而カモ鑛毒ノ浸漸ハ銅山ノ鑛業伸擴スルニ隨テ時々刻々其被害ヲ增加スルモノナルヲ牢記セサル可ラス斯ノ如クニシテ放任セハ渡良瀨川兩岸二十餘里ノ沃度ニ遠カラスシテ毒霧漂渺タル大沙漠ト化シ數拾萬ノ人民將ニ適歸スル所ナカラントス彼ヲ思ヒ是ヲ想ヘハ某等今日ノ境遇ハ實ニ毒烟ノ中ニ棲息セルモノニシテ一呼一吸只々其生命ヲ刻マル、ヲ覺フルノミ豈片時ト雖モ其心頭ヲ安ニスルヲ得ムヤ

嗚呼鑛毒浸漸ノ極是ニ至ル之ヲ濃尾ノ震災ニ比シ三陸ノ海嘯ニ較フルキハ其禍害ノ大小果シテ如何濃尾ノ震災三陸ノ海嘯慘ハ則チ慘ナリト雖モ是レ皆ナ不測ノ天災ニシテ到底人智ヲ以テ避ク可ラサルモノ而カモ政府ハ能ク此天災ニ對シテ救濟ノ方法ヲ講セリ渡良瀨川沿岸ノ鑛毒慘害ニ至テハ乃チ人爲ノ禍害ニシテ之カ原因ヲ杜絶スルト否トハ只々政府ノ掌中ニ在リ然ルニ政府ニシテ之カ原因ヲ杜絶スルヲ爲サス漫然トシテ此慘禍峻害ヲ救ハスンハ其結果ハ數萬町歩ノ田畑一商人ノ手ニ沒セラレ數拾萬ノ人民古河市兵衛ノ爲メニ毒殺セラル、ニ異ナラス政府ハ之ヲ坐視シタルモノトナラン某等沿岸ノ人民何ニ頼テカ生命ヲ保チ權利財產ヲ全フスルヲ得ンヤ

以上ノ現狀ナルヲ以テ其鑛毒ニ原因セル各種ノ被害ハ無論其加害者ヲシテ賠償セシムヘシト雖モ危急既ニ旦夕ニ迫ル希クハ實地速ニ御調査ノ上鑛毒被害ノ輕重ニ應シテ被害地全般ノ地租無期限御免除御輕減被成下度泣血稽首謹テ請願仕候也

縣 郡 村 番地  
 族籍 氏名 印

大藏大臣伯爵松方正義殿

栃群茨 栃馬城 栃玉

四縣聯合足尾銅山鑛業停止同盟事務所

明治三十年一月二十八日